

「京都府新・子育て支援計画（仮称）」中間案の 主な新規・拡充施策について

今後5年間で目指す考え方

- 子育て世代である（20、30代の）若者が、京都に住み、子育てしたいという将来の見通し（ライフデザイン）を描ける子育て環境の整備
- 本計画では、出会い・結婚、妊娠・出産、子育て、保育・教育及び子育てにあたたかい気運の醸成を中心に、今後5年間の施策の具体化を図る。

重点的に取り組むべき主な新規・拡充施策

- 若者の結婚や子育てに対する意識・行動変革
 - ・ 若者向けの「ライフデザインカレッジ（仮称）」を創設し、就学、仕事、結婚、子育てなどのトータルの人生設計を早期に考えることができる環境を整備
- 安心して結婚・妊娠・出産できる雇用環境の創出
 - ・ 若者の早期離職・非正規雇用からの改善や、自らの働き方を実現できる就労環境の整備（「京都府就業支援・人材確保計画」と連携）
 - ・ 企業経営者や男性社員の意識改革のための「ワークチェンジ塾」を創設するとともに、男性社員の育児休業取得やワーク・ライフ・バランスを考慮した人事評価制度の導入等を支援
- 妊産婦支援の充実
 - ・ 産後うつ予防・早期発見や児童虐待の未然防止等の観点から、地域の実情に応じた産前・産後の妊産婦支援の充実
- 保育士の確保
 - ・ 保育士等が働き続けやすい職場環境を実現できるよう、労務等のアドバイザーの巡回支援等により就労環境の整備を支援
- 地域の見守り支援
 - ・ 子育ての悩みの相談や親子同士の交流の場である子育てひろばの機能強化
 - ・ 放課後児童クラブの質の向上・機能強化
- 保育所・幼稚園等と小学校との連携強化
 - ・ 幼児教育センターを設置し、幼児教育アドバイザーの配置等により、保育・幼児教育の質の向上を図るとともに、保育所・幼稚園等と小学校との連携を強化

各段階における主な新規・拡充施策

【出会い、結婚期】

- 安心して結婚・妊娠・出産できる雇用環境の創出
 - ・ 子連れ出勤、子連れコワーキング等の柔軟な制度の導入
 - ・ 仕事と不妊治療の両立支援の充実
- 結婚から子育て、子どもの成長に適した暮らし方ができる住環境の整備
 - ・ 府営住宅の子育て世代向けの改修を進めるとともに、大規模団地の建替えにあたっては、子育て支援施設の併設を推進（「京都府住生活基本計画」と連携）

【妊娠、出産期】

- 不妊及び不育治療に対する支援
 - ・ 特定不妊治療に係る通院交通費助成など、全国トップクラスの支援の更なる充実

【保育・幼児教育期】

- 地域のニーズに対応した保育所等の受け皿の整備
 - ・ 保育所・認定こども園・幼稚園等の整備を促進
- 多様な保育ニーズに対応できる環境の整備促進
 - ・ 病児保育の受入体制の整備や、市町村域を越えた病児保育の広域利用の拡大など、多様な保育ニーズへの対応を推進

【子育て期】

- 地域の見守り支援
 - ・ 地域で子育て支援に取り組む機関や団体の連携を強化するためのネットワークを充実・強化
- 配慮や支援が必要な子どもへの支援
 - ・ 発達障害の早期発見・早期療育支援や医療・福祉・相談をパッケージで提供できる拠点化、地域資源のネットワーク化による支援体制を拡充

【子育てにあたたかい気運の醸成】

- 行政、企業、地域、保育・教育団体など社会全体で子育てを見守り支える風土づくり
 - ・ 行政、経済団体、保育・教育団体等で「きょうと子育て環境日本一サミット（仮称）」を開催するとともに、若者や高齢者等ターゲットに応じたキャッチコピー等により、効果的な広報を実施
- 地域で考え、地域で行動する意識の高揚
 - ・ 府が開発する地域子育て環境の充実度が見える化するツールを活用し、各地域で考え、行動する「地域サミット」として展開